

において、ポケットセミナー「森は海の恋人の故郷に学ぶ」を開講する。私も“受講生”の一

人として、この「汽水人」から心に森を築く意味を改めて学びたいと願っている。

(たなか まさる)

『附属図書館セレクション』

京都大学の特色ある貴重なコレクションの常設展示

附属図書館は、図書館資料(図書)を約87万冊所蔵しています。二階には、開架図書を約9万冊配置していますが、全体の10%程度に過ぎません。残りの90%の蔵書は、地下書庫に収蔵しています。これらのうち一般の書庫内資料は、OPACなりカード目録で検索して、カウンターに請求し、ご利用いただいておりますが、貴重資料等は日頃日手に取ってご覧いただくことが難しいものです。

この度、これらの書庫内資料から、京都大学の特色を示す貴重な資料で、学外の展示会等でよく利用されているものを、『附属図書館セレクション』として一定期間常設展示することとしました。

京都大学の誇るコレクションの素晴らしさをご鑑賞ください。

【第1回】幕末京都の尊攘堂セレクション

平成17年6月～8月

第1回目は、明治維新後に子爵品川弥二郎が全国の勤皇志士に手紙で呼びかけて収集し、四条高倉通にあった尊攘堂において展示した勤皇志士たちの墨跡などを中心としたコレクション「維新特別資料」(尊攘堂資料)から10点を展示しました。

【第2回】古地図セレクション

平成17年9月～11月

第2回目は、平成8年度大型コレクションで購入した「古地図及び地理学文献コレクション(室賀信夫コレクション)」などから4点を展示しています。



幕末京都の尊攘堂セレクション



古地図セレクション